

日本における 対外直接投資を取り巻く 環境に関する意見

シモーネ トムセン
日本イーライリリー株式会社

2023年10月4日



日本イーライリリー株式会社について | 日本に貢献して100年

企業概要



従業員数 2,700名

製薬会社における時価総額ランキング一位のイーライリリー・アンド・カンパニーにおける世界最大の支社

国内売上高 2,167億円

日本の開発中プロジェクト数における業界ランキングでトップクラス（66社中5位）



2025年までに
神戸市西神工場
に70億円投資

1. リリーが神戸（関西）や日本に投資をする理由



- 100年以上前に塩野義製薬と事業開始
- 国際的な人材が暮らしやすい環境（国際空港、交通機関、インターナショナルスクール等）
- 先端技術とイノベーションの研究開発拠点が整備されていること
- ヘルスケアとバイオ医薬品のイノベーションに関して、神戸市と長年のパートナーシップが構築されていること
- 世界トップレベルのイノベーションを日本の患者さんに遅滞なく提供するために研究開発投資を継続

2. 投資する企業の視点から見た日本の魅力



- 組織化され、信頼性が高く、政治的に安定した社会
- 高いスキルと才能を持ちつつサービスマインドと労働倫理を備えた人材
- 政府が国民の健康を重視し、世界最高の健康アウトカムに貢献する国民皆保険の下、革新的医薬品の早期の承認と患者アクセスを確保
- 米国に次ぐ世界第2位のバイオ医薬品市場、医薬品市場としても第3位
- 超高齢化に伴う高いアンメット・メディカル・ニーズの存在

日本への投資 | より機能する仕組みと重要な課題とは？

再投資の減少は、日本の創薬イノベーションエコシステム全体に影響を及ぼす。

理想的なエコシステム



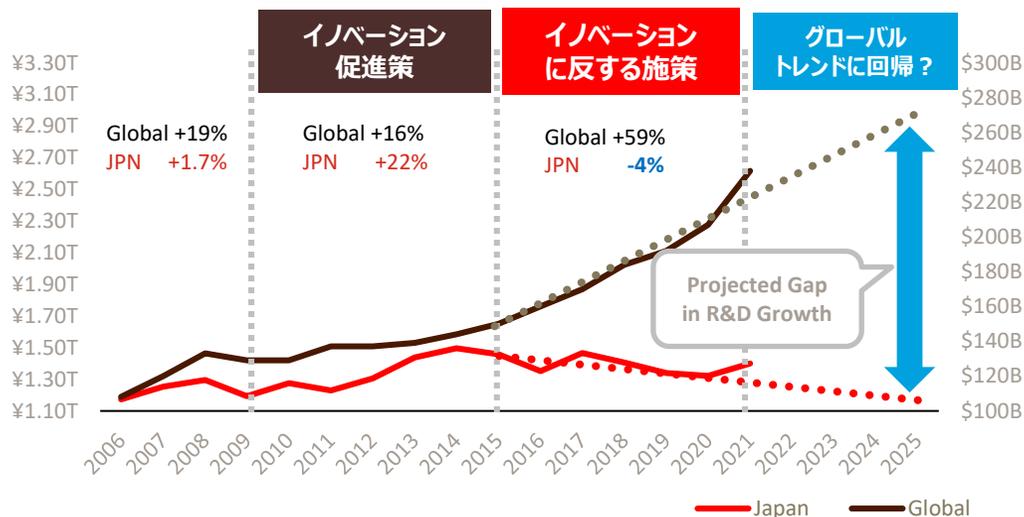
現行の「課題に直面している」エコシステム



エコシステムの改善が必要 | これまでの結果と今後のあり方

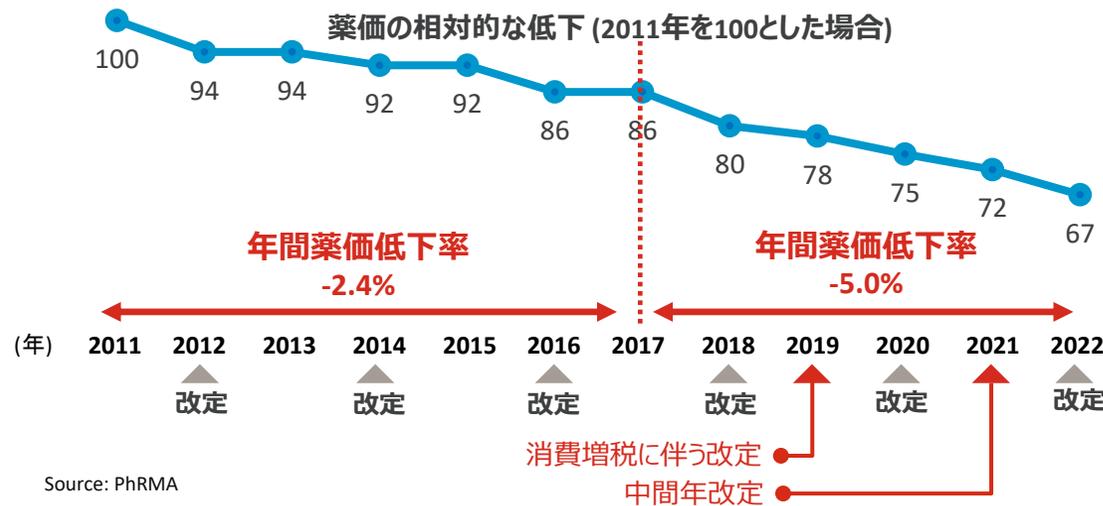
日本は研究開発投資で明らかに後れをとっているが、まだ取り戻す余地がある。

研究開発投資 | 日本は後れをとっている



Source: PhRMA analysis of Japanese Ministry of Internal Affairs and Communications, Report on the Survey of Research and Development, 2022; Evaluate Pharma World Preview 2022 Outlook to 2028, 2022..

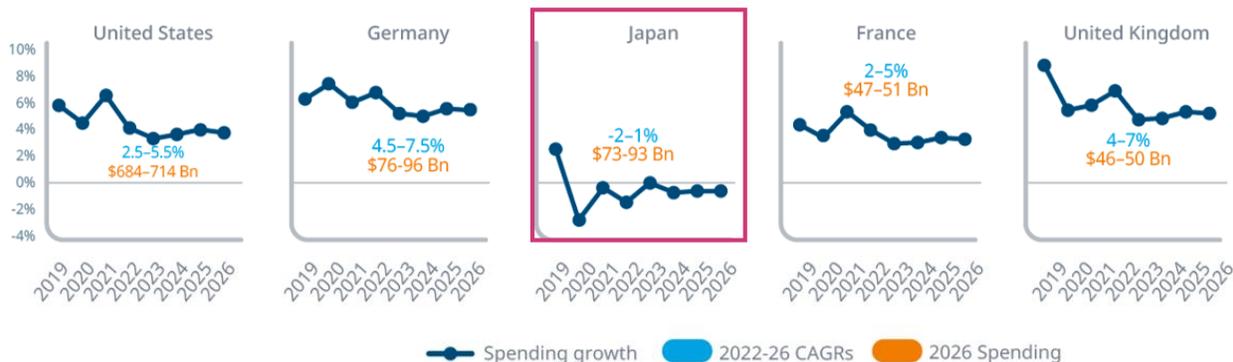
薬価をとりまく環境 | 薬価維持されていない製品における価格下落の加速



Source: PhRMA

市場成長 | 日本のみマイナス成長予想

主要市場におけるバイオ医薬品市場の売上成長予測



Source: IQVIA Institute for Human Data Science, 2021.

日本におけるドラッグ・ラグの再来 | 各国で入手可能な世界的革新的新薬の増減比較

	2012-2016	2017-2021
USA	79%	83%
China	2%	14%
Japan	49%	41%

出典：2023年3月時点におけるIQVIA MIDAS、各国当局のデータをPhRMAが分析
 注：2012年1月1日から2021年12月31日の間にFDA, EMAおよび/もしくはPMDAが承認しいずれかの国で上市された新規医薬品成分。FDA迅速審査プログラムにはFast Track, Breakthrough Therapy, Priority Review and Accelerated Approvalが含まれる

政府に対する要望

日本への投資を促進するため、イーライリリーは日本政府に是非協力させて頂きたいと考えています。



西神工場拡張施設 完成イメージ図

創薬イノベーションエコシステムの改善

- 健全なエコシステムは、日本の人々の健康増進と経済成長に貢献
- 満たされていないニーズに対応するための研究開発投資には、イノベーションの価値に見合った明確なインセンティブが必要である
 - ✓ 特許期間中の新薬の薬価の維持
 - ✓ 新薬収載時の価格設定の改善

官民パートナーシップの強化

- **共通の目標に向け官民の対話の機会を増やす**
- 研究開発投資を促進するためには、官民が緊密に協力し、エコシステム内の根本的な課題に取り組む必要がある
- リリーは日本の投資環境を改善するための政策立案に、是非貢献させて頂きたいと願っています